

認定看護師教育課程（摂食嚥下障害看護）

令和4年度受講者選考試験のねらい（開示資料案）

認定看護師として、摂食嚥下障害看護分野に関する高度な実践、相談・指導・支援にあたるために必要な基礎的知識・技術・態度等の準備がある程度以上整っており、本教育課程受講期間中の学習によって、日本看護協会認定部の定める資格認定基準に到達できる見込みがあること、および資格取得後に認定看護師として自己研鑽を継続できる可能性があることを確認するために、以下の試験を行う。

1. 筆記試験

1) **小論文**：与えられたテーマについて具体例を用いて論理的に記述する力を問うた。教育課程における学習や認定看護師としての活動を支える日本語の使い方と、問われていることに対して明確に答える論理性および論理的思考、自分の意見を明快に表現する文章力を確認した。

2) **専門科目**：当該分野の専門的知識を理解するための準備状況を確認した。摂食嚥下に関わる解剖生理と原因疾患の病態生理など、専門分野を理解するための基礎知識、および看護を提供するために必要なアセスメント力、リスクマネジメント力を確認した。

2. **面接試験**：認定看護師として「高度な実践」「相談・指導」にあたる際に必要となる言語的・非言語的コミュニケーション力、人に向き合う際の倫理的配慮等の準備状況を確認した。

1) **個人面接**：本教育課程の受講動機や特定認定看護師としてのビジョン、専門職業人としての自律性とストレス耐性、サポート体制等の準備状況を確認した。

*例年、グループで課題を共有し、限られた時間内でディスカッションを行う際のコミュニケーション力、状況判断能力と協調性、時間管理や対人関係調整能力等の準備状況を確認するために集団面接を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から実施していない。

なお、認定看護師として活動できる準備の有無を確認するため、提出書類のうち特に以下の書類を面接試験の資料として参照した。

*履歴書、実務研修報告書（これまでの教育・実践・研究活動の状況⇒認定看護師資格認定審査受験資格の有無確認）

*志望理由書（受講動機）

*事例報告書（摂食嚥下障害看護分野の実践内容：看護師としてのアセスメント・実施・評価の能力、事例の概要と看護実践を要約して記述する能力）